



Fiery Color Profiler ヘルプ

© 2025 Fiery, LLC. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2025年12月3日

目次

Fiery Color Profiler	5
分光測色計を使用してパッチを測定する	5
分光測色計のキャリブレーション	5
キャリブレーションページ測定時のガイドライン	6
キャリブレーションのワークフロー	7
インク制限の合計の設定	7
インクコントロールの設定	8
プロファイルを作成する	8
基本的なキャリブレーションのワークフロー	8
高度なキャリブレーションのワークフロー	8

Fiery Color Profiler

Fiery Color Profiler は、さまざまな測定器を使用して、新しいキャリブレーションと新しいプロファイルを作成するように設計されています。

新しいキャリブレーション設定が必要になるのは、特定の印刷条件（インクセット、ハーフトーン、サブストレートの組み合わせなど）の場合に既存のキャリブレーションで容認できる出力が得られない場合です。たとえば、グラデーションやインクの付着が悪いといった場合です。カラー管理で正確なカラーを実現するため、多くの場合、新しいキャリブレーションでは新しいプロファイルが必要です。

Fiery Color Profiler では、次の 2 つの方法でキャリブレーションを作成できます。

- **基本モード**：プリセットを使用してプロファイルを作成するため、カラーマネージメントの経験がなくても印刷や測定ができます。
- **詳細モード**：プリセットを使用して出力プロファイルを作成しますが、ブラック生成と色域マッピングを調整してより細かな設定が可能です。

分光測色計を使用してパッチを測定する

分光測色計を使用して、手動でカラーパッチを測定します。

分光測色計は、以下の手順で使用します。

- 分光測色計をキャリブレーションします。
- 分光測色計を使用して、キャリブレーションページを測定します。
- 測定値を表示および保存します。

Fiery Calibrator は通常、次のような測定器を標準サポートしています。

- EFI ES-2000
- Fiery ES-3000
- Epson SD-10

他のタイプの測定器がプリンターでサポートされている場合もあります。

分光測色計のキャリブレーション

分光測色計をキャリブレートしてキャリブレーションページの測定準備をおこないます。

ドックのホワイトタイルと測定器のアパーチャーが両方とも汚れていないことを確認してください。ホワイトタイルにカバーがかけられている場合は、必ずカバーを開けてください。

白色点キャリブレーションを使用し、分光測色計の時間の経過に伴う測定の変動を調整します。分光測色計をドックに設置し、サンプルアパーチャーがキャリブレーションドックのホワイトタイルに完全に接触するよう

にしてください。キャリブレーションドックに正しく配置しないと、分光測色計は正確な測定を行うことができません。

正確なキャリブレーションを行うには、分光測色計のシリアル番号とドックのシリアル番号が一致している必要があります。

1 キャリブレーションページを印刷後、分光測色計をキャリブレーションドックに配置します。

2 続行をクリックするか、分光測色計のボタンを押します。

キャリブレーションに成功した場合は、キャリブレーションページの測定に進めます。

キャリブレーションページ測定時のガイドライン

EFI ES-2000、Fiery ES-3000 または Epson SD-10 分光測色器を使用して、パッチの各ストリップを順番にスキャンすることでカラーパッチを測定できます。

ストリップのスキャンが正しく行われると、ディスプレイインジケーターが緑に変わり、画面の矢印が次のストリップに移動します。ストリップのスキャンが正常に完了しない場合、ディスプレイインジケーターは赤色で表示され、再試行を指示するメッセージが表示されます。

- 1** 正確な測定結果を得るには、キャリブレーションページの下に白い紙を数枚敷くか、使用可能であればバックアップボードを当てます。
- 2** キャリブレーションページは、ストリップが水平になり、スキャン方向が左から右になるように配置します。
- 3** 分光測色計をスキャン方向に対して垂直に持ち、サンプルアパーチャーの先端をストリップの開始地点にある白いスペースに配置します。
- 4** 分光測色計のボタンを押したままにして、信号（画面上のメッセージまたはビープ音）を待ちます。
- 5** 信号を確認したら、ゆっくりとした一定の速さで分光測色計をストリップの上でスライドさせます。
- 6** 1つのストリップをスキャンするには、約 5 秒かかります。
- 7** ストリップ内の全パッチをスキャンし、ストリップの端の白い部分まで来たら、ボタンから指を離します。
- 8** 画面に表示した順番で、すべてのストリップに同じ手順を繰り返します。
モノクロプリンターの場合は、ストリップは 1 つのみです。
- 9** 全ストリップのスキャンが完了したら、**続行**をクリックして測定結果を確認します。

キャリブレーションのワークフロー

キャリブレーションを行う際には、次のタスクを実行します。

- キャリブレーションページの印刷。特定のレイアウトの様々なカラーのパッチを含みます。このページを使用して、プリンターの現在の出力を測定します。
プリンターからの出力は、時間の経過と使用状況により変化します。現在のプリントデバイスのデータを得るには、必ず新しく印刷したキャリブレーションページを測定してください。
- 分光測色計を使用して、キャリブレーションページのパッチのカラー値を測定します。
- 測定を適用する

測定データは特定のキャリブレーション設定と共に保存されます。特定のキャリブレーション設定を適用してジョブを印刷すると、この測定データを使用して、望ましいカラー（キャリブレーションターゲット）で出力するのに必要なキャリブレーションを算出します。

インク制限の合計の設定

インク制限の合計に対して、調整を行うことができます。

このインク制限の合計機能は、手動によるインク制限が必要なプリンターで使用できます。

- 1 インク制限の合計値を選択します。

表示される値はプリンターで推奨されている値で、追加の評価は必要ありません。推奨されている値を使用しない場合は、任意の数値を入力することができます。

- 2 次のいずれかの操作を行います。

- ビジュアルチャートを設定をクリックします。

ビジュアルチャートの設定を変更して、パッチレイアウトをカスタマイズできます。設定の調整が終了したら印刷をクリックします。

FieryMeasure のパッチレイアウトウィンドウが表示されます。印刷をクリックして続行します。

- ビジュアルチャートを印刷をクリックします。

FieryMeasure のパッチレイアウトウィンドウが表示されます。印刷をクリックして続行します。

- 3 (オプション) スマートなデータ平均化のために冗長パッチを追加するを選択します。

スマートなデータ平均化のために冗長パッチを追加するオプションを選択すると、パッチ測定レイアウトにパッチが追加されます。追加された測定パッチにより、Fiery Color Profiler 用により多くの測定情報を収集して測定結果を改善できます。

- 4 次へをクリックして、測定に進みます。

画面の指示に従って、キャリブレーションページを測定します。

インクコントロールの設定

パッチを測定した後、プリンターをキャリブレートする際に適用されるインク使用量とインク消費量を表示できます。

手動インク制限が必要なプリンターではインクコントロール設定機能を使用できます。

値が望ましい結果でない場合は、インク使用量と消費量を手動で調整できます。たとえば、計算結果が 90%台後半の場合は、インクを 100%に設定できます。

また、各カラーチャンネルのタブをクリックして、個々のチャンネルの確認や調整も可能です。

1 (オプション) 設定画面に表示されるインク使用量の値を指定します。

リセットをクリックして元のインク値に戻します。

2 次へをクリックしてキャリブレーション処理を続行します。

プロファイルを作成する

測定器のカスタム出力プロファイルを作成できます。

1 次のいずれかの方法を選択して、出力プロファイルを作成します。

- **基本モード** : プリセットを使用して出力プロファイルを作成します。
- **詳細モード** : プリセットを使用して出力プロファイルを作成しますが、ブラック生成と色域マッピングは調整できます。

2 続行をクリックして画面の指示に従います。

基本的なキャリブレーションのワークフロー

基本的なワークフローを使用して、出力プロファイルを作成できます。

基本的なキャリブレーションワークフローでは、プリセットを使用した簡略化されたプロセスによって出力プロファイルを作成します。

キャリブレーションの概要の確認

測定プロファイルを作成すると、測定結果を表示できます。

- 完了をクリックして、ウィンドウを閉じます。

高度なキャリブレーションのワークフロー

高度なワークフローを使用して、出力プロファイルを作成できます。

高度なキャリブレーションワークフローでは、ブラック生成と色域マッピングを調整して、さらにカスタマイズが可能です。

Fiery Edge プロファイルのプロファイル設定を編集する

プロファイル設定は、Fiery Edge デフォルトプロファイルの出力でブラック設定、色域マッピングの処理方法を制御します。

プロファイル作成設定 ウィンドウでは、選択したプロファイルのプロファイル設定を編集できます。

メモ：デフォルト設定で満足な結果が得られない場合にのみ、設定を変更してください。通常、デフォルト設定はプリンターの最適な設定です。

- 1 **プロファイル作成設定** ウィンドウで、**プロファイルの編集** をクリックします。
- 2 タブをクリックして次の値を指定します。
 - **ブラックの設定**：ブラックの設定では、プロファイル全体の黒点とブラック生成におけるブラックインク/トナーの使用を設定します。
 - **色域マッピング**：Fiery Edge 制御の知覚および彩度オプションは、知覚および彩度レンダリングインメントを使用して作成された印刷の視覚的外観を調整します。
 - **詳細設定** - 入力データとテーブルの平滑化、光源、テーブルのサイズを調整するための Fiery Edge プロファイルの処理オプションです。
- 3 **続行**をクリックします。

Fiery Edge プロファイルのブラック設定

ブラック設定のデフォルト値を変更することで、プリンタープロファイル全体の黒点およびブラック生成におけるブラックインク/トナーの使用を設定できます。

- 1 **ブラック設定** タブをクリックします。
- 2 CMY インクまたはトナーを最小限に抑えるには、**ブラックのみのグレーバランス** チェックボックスを選択します。
ブラックのみのグレーバランス チェックボックスが選択されている場合は、**ブラックの幅** 値のみ調整できます。インク節約機能がオンになっていて、**ブラックのみのグレーバランス** チェックボックスを選択した場合、**ブラックの幅** 値は使用できなくなります。
- 3 次の**ブラック生成** の値を設定します。
 - **ブラックインク始点**：プロファイルのホワイトからブラックのニュートラル軸 (L^* 軸) にブラックインクが導入されるタイミングを制御します。この値を調整して、グレーバランスの安定度を調整したり、ブラック画面のきめが粗い場合にハイライト部分の粗さを減らしたりできます。
 - **ブラック生成**：ホワイトからブラックのニュートラル軸に沿ってブラックインクを追加する割合をコントロールします。値が高いと、高い割合でブラックを追加します。値が低いと、緩やかな速度でブラックを追加します。
 - **ブラックの幅**：ブラックインクがより彩度の高い色に追加される割合を制御します。ブラックの幅の値が低いと、ニュートラル軸のブラック量はプロファイルのニュートラル軸近くに保持され、ブラックの幅の値が高いと、ニュートラル軸のブラック量を色域外に拡張できます。
 - **グレーバランスプレビュー (0-100%)**：入力値と実際の出力インク値の関係をパーセンテージで表示します。

4 黒点に以下の値を設定します。

黒点設定は相対カラーメトリック値で指定されます。

- **黒点ファインダー**：黒点ファインダーを選択すると、プロファイルは自動的に黒点を識別します。この設定が選択されていない場合は、ブラックに使用する CMYK インク量を指定します。
- **最大ブラックインク**：プロファイルの黒点に使われるブラックインクの上限を設定します。ブラックと他のカラーとの間で望ましくない差が生じるなど、望ましい効果が得られない場合は、この値を 100%から減らすことができます。デフォルトの設定は、プロファイルを作成しているプリンターのタイプに適した値です。最初はデフォルトの設定を使うことをお勧めします。
- **検索半径 (ΔE_{ab})**：**黒点ファインダー**が有効になっている場合、このコントロールを使用すると、黒点のターゲット a^*b^* の半径を検索できます。
 - **ターゲット (a^*)**：黒点のターゲット a^* です。
 - **ターゲット (b^*)**：黒点のターゲット b^* です。
- **黒点プレビュー**：CMYK の $L^*a^*b^*$ 値が表示されます。
- **リッチブラック $L^*a^*b^*$** ：リッチブラック値は黒点設定で指定された値に従って設定されます。相対カラーメトリック値と絶対カラーメトリック値の両方が比較の目的で表示されます。
- **純ブラック $L^*a^*b^*$** ：純ブラックは、ブラックインクのみのカラリメトリーを表します。相対カラーメトリック値と絶対カラーメトリック値の両方が比較の目的で表示されます。

5 黒点ブレンドの次の値を設定します。

- **イエローからコンポジットブラックへの遷移**：イエローに追加されるブラックの遅延を設定します。
 - **低**：ブラック液滴サイズが小さいプリンターに使用します。
 - **中**：ブラック液滴サイズが中程度のプリンターに使用します。
 - **高**：ブラック液滴サイズが大きいプリンターに使用します。
- **トランジションポイント**：ブラックインクをイエローに追加する割合を設定します。調整範囲は 0 (ブラックを最も遅く使用) から 1 (最初にブラックで直接暗くする) です。通常、コントロールを 1 に設定すると領域の色域が最大になりますが、明度の高いカラーにブラックインクが導入されます。場合によっては、ブラックインクを追加すると、肌の色調が粗くなります。このような場合は、より小さい値に調整を移動し、ブラックが遅れて使用されるようにします。
- **ブラックブレンディングプレビュー**：ソリッドイエローからコンポジットブラックへのカラーシフトを表示します。ソリッドイエローは 100% 黄色です。

6 適用をクリックして選択を保存し、**リセット**をクリックしてデフォルト設定にリセットするか、その他のタブの 1 つをクリックします。**Fiery Edge コントロールの色域マッピング**

これらのコントロールでは、知覚および彩度レンダリングインテントを使用して印刷の外観を調整します。

1 色域マッピングタブをクリックします。

色相回転で出荷時プロファイルを使用している場合は、**レガシーモードに復帰**をクリックして、Fiery Edge 色域マッピング設定をカスタマイズできます。

2 知覚色域マッピングには、次の値を設定します。

- **彩度強調**：知覚的レンダリングインテントでは、5つの彩度強調レベルから選択します。**なし**を選択すると、色域内のカラー強調は適用されません。**低**モードでは、再現時の彩度に調整を加えません。**中**モードでは色域内のカラーが中程度向上します。わずかに高い彩度の出力を作成するには、このモードを選択します。**高**モードでは、色域内のカラーに対してより積極的な Chroma 強調を提供します。彩度の高いカラーを目指している場合は、このモードを選択します。**最大**モードでは、色域内のカラーに対して最も強力に Chroma 強調を行います。最も高い彩度のカラーを目指している場合は、このモードを選択します。
- **コントラスト**：印刷されたカラーの全体のコントラストを調整します。コントラスト調整には、**なし**、**低**、**中**、**高**の4つのレベルがあります。これらの設定により、印刷されるカラーのコントラストが向上していきます。
- **シャドウを薄くする**：色が暗い領域では選択的に明度を上げ、明るい色調の領域では明度を維持します。シャドウを薄くする調整レベルには、**なし**、**低**、**中**、**高**の4つのレベルがあります。これらの設定により、色調が暗い領域で明るさが向上していきます。これらの調整を使用すると、暗い色調で細部を強調できます。

3 彩度レンダリング (Fiery Intensify) で次の値を設定します。

- **彩度強調**：知覚的レンダリングインテントでは、5つの彩度強調レベルから選択します。**なし**を選択すると、色域内のカラー強調は適用されません。**低**モードでは、再現時の彩度に調整を加えません。**中**モードでは、色域内のカラーが中程度向上します。彩度がわずかに向上した出力を作成するには、このモードを選択します。**高**モードでは、色域内のカラーに対してより積極的な Chroma 強調を行います。わずかに高い彩度の出力を作成するには、このモードを選択します。**最大**モードでは、色域内のカラーに対して最も強力に Chroma 強調を行います。最も高い彩度のカラーを目指している場合は、このモードを選択します。
- **コントラスト**：印刷されたカラーの全体のコントラストを調整します。コントラスト調整には、**なし**、**低**、**中**、**高**の4つのレベルがあります。これらの設定により、印刷されるカラーのコントラストが向上していきます。
- **シャドウを薄くする**：色が暗い領域では選択的に明度を上げ、明るい色調の領域では明度を維持します。シャドウを薄くする調整レベルには、**なし**、**低**、**中**、**高**の4つのレベルがあります。これらの設定により、色調が暗い領域で明るさが向上していきます。これらの調整を使用すると、暗い色調で細部を強調できます。

4 適用をクリックして選択を保存し、リセットをクリックしてデフォルト設定にリセットするか、他のタブの1つをクリックします。

キャリブレーションの概要の確認

測定プロファイルを作成すると、測定結果を表示できます。

- **完了**をクリックして、ウィンドウを閉じます。